

「廃棄物」と呼ぶか、
「資源」と呼ぶか。

それは未来への選択です。

私たちの暮らしを支え、
生命を守るインフラ。

セメントは、この国のインフラ整備に
欠かせない素材ですが、
単なる建築素材だけではない
役割を担っているのです。

セメントは、製造工程において
実にさまざまな廃棄物・副産物を
代替原料・熱エネルギーとして
有効活用しています。

その量、1年間に約2800万t。
わが国で発生する廃棄物等の
循環利用のうち1割強にあたります。
原料は1450℃という高温で焼かれ、
有害な物質も分解されます。
これだけ大量の廃棄物を処理し、
二次的な廃棄物も出さない
産業は他にありません。

セメントの原料になった瞬間、
「廃棄物」はいなくなります。
セメントをつくることは、
循環型社会という未来を
築くことでもあるのです。

セメントをつくる。
そのとき、
廃棄物は生まれ変わる。

環境のために、セメントにできることを。